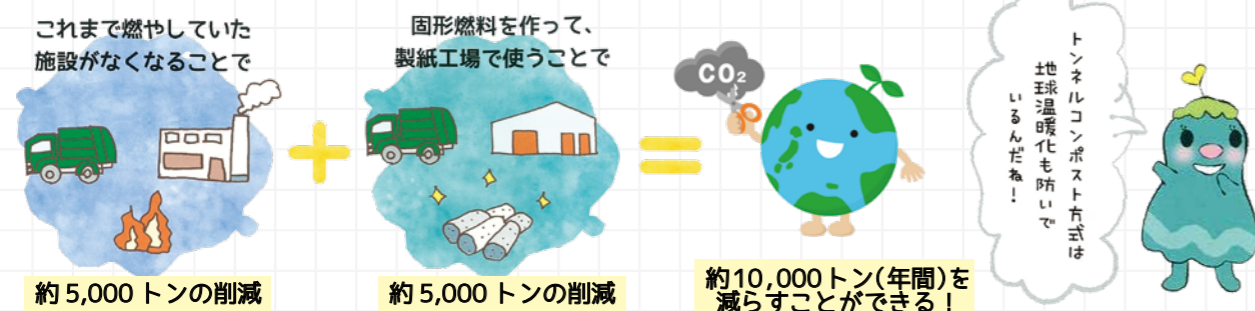


4 CO₂が出る量をどのくらい減らしているの？

市の削減実績（令和3年度）は、**10,172トン**^(※3)！平成29年から令和3年までの5年間の累計は**53,185トン**！削減量は日本有数で、SDGsの達成に大きく貢献しています！

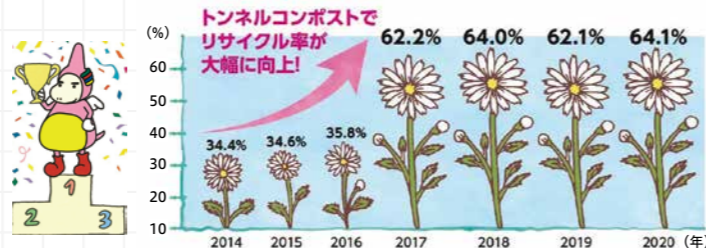
(※3) 環境省によると、1世帯あたりのCO₂排出量は年間2.88トン。市が削減している10,172トンは約3,531世帯分になります。



5 リサイクル率はどのくらいなの？

令和2年度のリサイクル率は、全国トップクラスの**64.1%**です。(香川県内では**2位**を大きく引き離して**トップ**です。2位は三木町で28.3%)

今後もさらにリサイクル率を上げて、環境負荷を低減させる必要があります。



見学受付中

国内外を問わず多くの方が見学に来ています！ぜひ、見学にお越しください。視察の受け付けは、1団体4人からとなっています。※新型コロナウイルス感染症の状況によっては、受け入れができない場合があります。

場所 山本町神田30番地1

▶申し込み・問い合わせ (株)エコマスター ☎23-6230



▲バイオマス資源化センターみとよ



皆さんへのお願い

1 しっかりと分別！

資源になるものは資源ごみへ。燃やせるごみの中に不燃ごみ（金属やガラス、陶器類など）や有害ごみ（電池やライターなど）を入れないでください。18分別を守ってください。



▲分別方法は こちらから

2 リチウムイオン電池の捨て方に注意！

近年、リチウムイオン電池などが原因で収集車が発火する事故が多発しています。家庭からの収集ごみにリチウムイオン電池を混入させないように注意してください。※使用済みの充電電池・ボタン電池・モバイルバッテリーは、リサイクル協力店舗へ持ち込んでください。



◀ ごみは燃やさずリサイクル！ ▶

脱炭素やSDGsに貢献している市独自の燃やせるごみ処理方法とは？

▶問い合わせ 環境衛生課 ☎73-3007

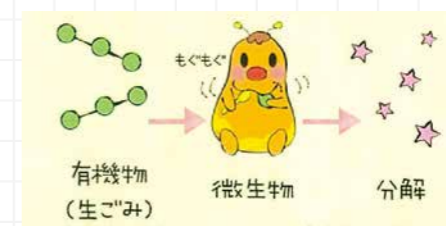
分かりやすく解説！

市では平成29年4月から、先進的なごみ処理に取り組んでおり、全国の自治体から注目されています。どのように処理しているのか…、どれくらい環境にやさしいのか…。注目が集まるワケを、分かりやすく解説します。

1 どのように処理しているの？

全国初のトンネルコンポスト方式^(※1)により処理しています。

(※1) コンクリートのトンネルの中で微生物の力により生ごみなどを分解して、残ったものを石炭に替わる固形燃料へ、リサイクルしています。臭いも排水も出さない環境にやさしい方式です。

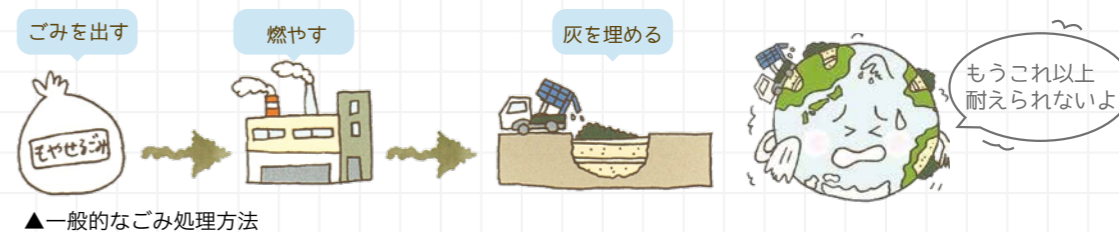


微生物が主役！

バイオトンネルというところで数えきれないくらいたくさんの微生物が生ごみや草木を発酵させて、粉々に分解します。分解する時に70℃くらいまで温度が上がり、その熱で分解できない紙やビニールが乾燥します。

2 他市町村のごみ処理とどう違うの？

他市の多くでは、ごみを燃やして処理することが多いです。ごみを燃やすことで、①たくさんのCO₂が出る、②残った灰を埋め立てる場所が必要など、**環境に大きな負荷をかけています。**



3 固形燃料を燃やしているけど環境負担は少なくなるの？

少なくなります。燃やせるごみからできた固形燃料は、石炭^(※2)と同じくらいの熱量を維持しながら、CO₂の排出量は約2/3、価格も安く燃料として優れた特性があります。また、石炭を掘り起こさなくていいので**環境面にも非常にやさしいです。**

(※2) 大部分を海外から輸入している石炭を使用しない＝輸送時や燃焼時に排出されるCO₂を出さないで、CO₂削減に貢献します。また、石炭は限りある資源ですが、固形燃料はごみがある限り尽きることはありません。



固形燃料▶